

The PPAR- γ agonist, pioglitazone, prevents hemorrhagic infarct after transient focal ischemia in the diabetic db/db mice

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2017-03-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 長谷川, 浩 メールアドレス: 所属:
URL	https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2001981

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 1812 号

The PPAR- γ agonist, pioglitazone, prevents hemorrhagic infarct after transient focal ischemia in the diabetic db/db mice

(ピオグリタゾン投与下 db/db マウス脳虚血モデルにおける脳保護作用に関する検討)

長谷川 浩 (はせがわ ひろし)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、本来、糖尿病薬である Pioglitazone (PGZ) の PPAR γ アゴニストである点、及び Adiponectin (APN) の血中増加、組織保護作用に注目し、レプチン欠損マウスである db/db マウスを使用し PGZ を投与、脳虚血再灌流モデルにおける脳保護作用に関する検討を行っている。PGZ 投与群ではインスリン感受性の改善がみられており再灌流後出血性梗塞を呈する確率は低下、梗塞巣も優位に縮小した事を確認した。過去にも PGZ 投与により、梗塞巣が減少することは報告されているが、今回の結果は PGZ 投与により db/db マウスでは出血性梗塞が減少する事を初めて明らかにした臨床的に意義ある論文である。PGZ はインスリン感受性を改善させるだけでなく、抗炎症作用を有し虚血後脳組織保護作用を促進する。PGZ は糖尿病治療薬としてだけでなくメタボリックシンドローム患者の急性期脳虚血の保護作用を有し、更なる応用につながる可能性がある。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。